

## 9.子ども食堂の役割と自分ができる事は何か 天白子ども食堂

竹腰晃太

### 1.始めたきっかけと母体

<概要>

天白子ども食堂

開催日：毎月第1日曜日または第2日曜日（抽選）

開催場所：原駅ターミナルビル3F

母体は個人、佐藤さん

東京都練馬区の八百屋「だんだん」さんのように、こどもたちに温かくてにぎやかなごはんを食べてもらいたくて始めた。

### 2.これまでの開催日時、食事メニュー

#### 天白子ども食堂

5月14日（日） カレーライス、オムレツ、サラダ、プリン

6月11日（日） 豚丼、味噌汁、ポテトサラダ、きんぴらごぼう

7月9日（日） 煮込みハンバーグ、サラダ、マッシュポテト、きんぴらごぼう、すいか、メロン

8月5日（日） 五目そうめん、鶏のから揚げ、かぼちの煮つけ

9月10日（日） チキンライス、オムレツ、サラダ、パンプキンスープ

10月1日（日） 冷製しゃぶしゃぶ、煮物、ごはん、味噌汁、フルーツ

11月19日（日） ミックスフライ、煮物、ごはん、味噌汁、フルーツ

12月10日（日） 鶏のから揚げ、ごはん、サラダ、クリスマスケーキ

#### 心の子どもごはん

12月16日（土） カレーライス、備蓄食パン、ほうれん草のおひたし、カリフラワー、タルト、クリスマスケーキ

<食事以外のプログラム>

#### 天白子ども食堂

栄養士さんによる手洗い教室

### 3.参加者の数とグラフ

#### 天白子ども食堂

6月11日（日）大人11人 子ども20人 ボランティア18人

7月9日（日）大人12人 子ども16人 ボランティア18人

10月1日（日）大人14人 子ども19人 ボランティア9人

12月10日（日）参加者43人 ボランティア15人 山崎製パン従業員組合さん3人

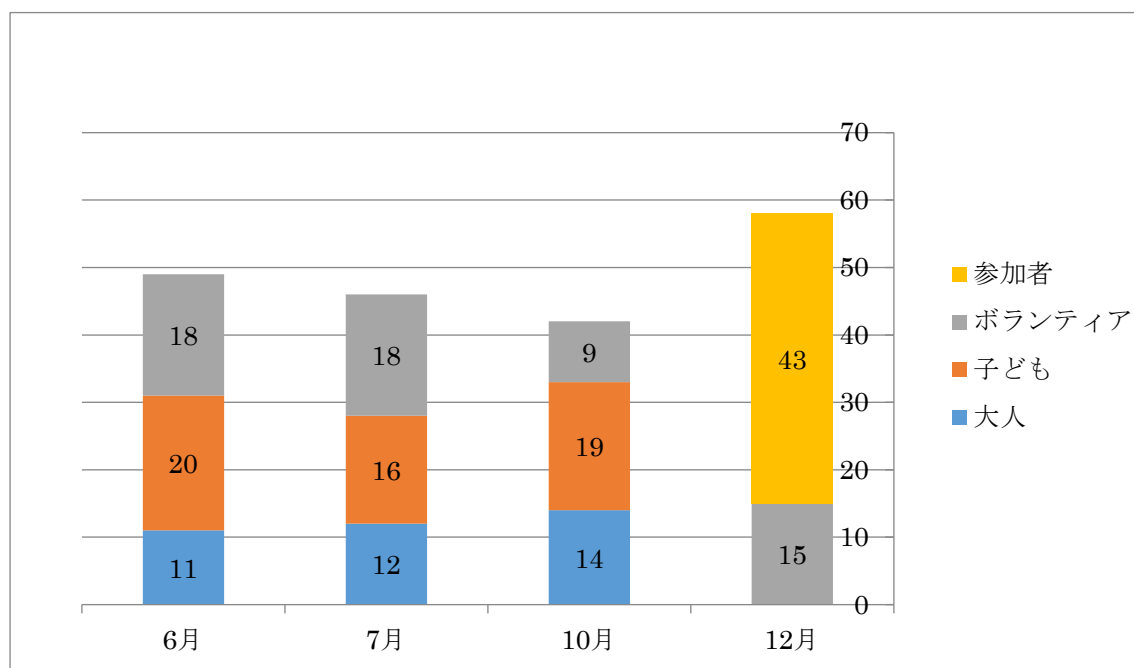


図 1 天白子ども食堂 参加者数

## 心の子どもごはん

12月16日（土）大人9人、子ども17人、ボランティア8人

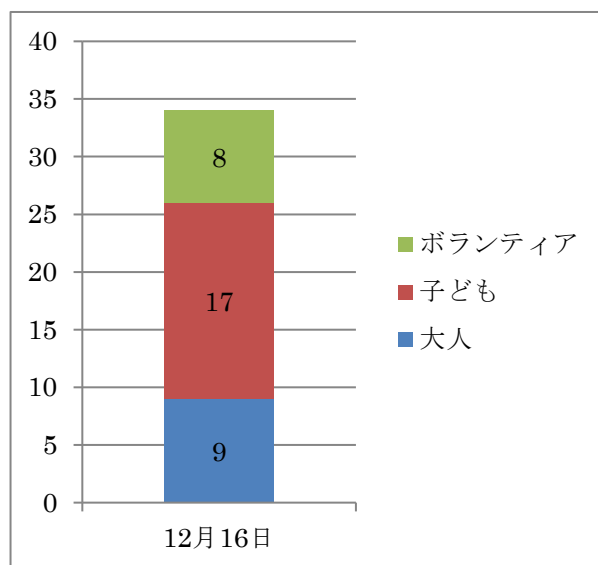


図 2 心の子どもごはん 参加者数

### 4.その参加者の主な居住地、学区など

天白区、港区、守山区

### 5.子ども食堂が抱えている課題

#### 天白子ども食堂

- ・施設の利用権が毎回抽選であるため、場所の確保が不確実である。
- ・毎回子ども食堂が限定何食と予告しており予約制ではないので、作った料理が過剰に余ることがある。

### 6.その課題を解決するために行っていること

毎月できる限り、第二日曜日を取れるようにしている。そして、一か月前の子ども食堂開催の予告時に、翌月の日にちも知らせている。毎回来るお客さんがいること。

## 7.子ども食堂を支える関係者マップ

全国のお寺と支援団体、そして檀信徒および地域住民が協力し、慈悲の実践活動を通じて子どもをサポートする支援団体である「おてらおやつクラブ」からお菓子や調味料の寄付を頂いた。「山崎製パン」からは、天白子ども食堂が始まってから毎年クリスマスの月にケーキを寄付して頂いた。今年から私が天白子ども食堂のつながりマップを広げて、またその紐帯を強くしていけるように積極的に子ども食堂に参加し佐藤さんのサポートをできるように意識を改めて関わらせていただこうと思った。

